

事業名 赤ちゃん先生プロジェクト

団体名 ママの働き方応援隊豊橋校

様式第2 (第8条関係)

事業計画書①

(つつじ補助金・くすのき補助金)

事業の区分 (該当する事業をチェック☑)	(1)保健、医療又は福祉の増進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(11)国際協力を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(2)社会教育の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(12)男女共同参画社会の形成の促進を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>
	(3)まちづくりの推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(13)子どもの健全育成を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>
	(4)観光の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(14)情報化社会の発展を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(5)農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(15)科学技術の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(6)学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(16)経済活動の活性化を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(7)環境の保全を図る事業	<input type="checkbox"/>	(17)職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(8)災害救援事業	<input type="checkbox"/>	(18)消費者の保護を図る事業	<input type="checkbox"/>
	(9)地域安全事業	<input type="checkbox"/>	(19)公益的社会貢献活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業	<input type="checkbox"/>
	(10)人権の擁護又は平和の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(20)前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県条例で定める事業	<input type="checkbox"/>
①現状把握・分析 事業目的 事業実施の理由、地域課題の解決につながる事業の目的 必要性	<p>孤独な子育てによるネグレクトや虐待が後をたたない。子育て中の母親は孤独になりがちだが、地域社会と繋がることで、そのような事案を少しでもなくすことができると考える。赤ちゃん先生プロジェクトを通して、赤ちゃんを安心して産み育てることのできる地域社会をつくることを目的とする。また、赤ちゃん先生とのふれあいや子育ての話を聞く機会を通して、子供達は大切に育てられてきたことを実感し、自分を大切にすることが醸成されるため、将来のいじめや自殺の防止にも繋がることを期待できる。</p>			
実効性	②事業の具体的な内容	<p>【赤ちゃん先生出前授業】東三河エリアの小中学校を中心に、赤ちゃん先生出前授業を開催する。赤ちゃん先生出前授業とは、0・3歳の赤ちゃんとその母親が講師として各所を訪問し、タッチや抱っこなど直接のふれあいを通して赤ちゃんのやわらかさ、あたたかさを知ってもらい、たくさんのお世話が必要な赤ちゃんとのふれあいや、母親から子育ての話を聞くことによって自分たちも沢山の人の支えられて成長してきたことに気づくことができる。また、授業をする母親たちは特別な能力が必要なわけではなく、妊娠・出産・子育てを通して身につけたスキルこそが喜ばれる授業となっている。元気に楽しく生きてさえいてくれればいい、という母親の無償の愛を伝えることができる。</p> <p>【高齢者施設への訪問】赤ちゃんとその母親が、施設の利用者様と直接ふれあい、手遊びやダンスなどを通して交流する。普段関わることのできない世代の方との時間は母親にとっても感動的な時間となる。社会に必要とされているという承認欲求が満たされ、更に子育てに意欲が湧く。</p>		
	③スケジュール 実施予定期間の始期から終期まで	実施予定期間	令和7年 5月 1日から令和7年 2月 28日まで	
	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込
	5月～	各学校、施設と打ち合わせ 参加講師募集 順次授業実施	各学校等	25校 35クラス 受講者 2,000人 講師のべ 350組
④実施体制 (実施メンバー)	ママの働き方応援隊豊橋校 (協力：赤ちゃん先生プロジェクト)			

事業計画書②

(つつじ補助金・くすのき補助金)

<p>⑤この事業が公共の利益に寄与すると考える理由とこの事業を実施することでの市民(地域)への波及効果</p> <p>公益性・実効性</p>	<p>赤ちゃん先生プロジェクトに参画することで、地域社会とのつながりを強く感じながらイキイキと子育てをする母親を増やすことができる。</p> <p>また、赤ちゃん先生出前授業を届けることにより、命の大切さや子育ての楽しさ大変さをたくさんの人々へ伝えることができる。そこから生まれる地域の人々とのつながりによって、安心して赤ちゃんを産み育てることのできる街になる。</p>
<p>⑥この事業実施後の今後の活動について</p> <p>継続性</p>	<p>現在は依頼のある教育機関・施設を訪問しており、今後も丁寧に取り組んでいく。将来は行政と連携し、市内すべての小学校で授業ができる仕組みを構築したい。その第一段階として、R6年度はくすのき補助金(1回目)を利用し、これまでに訪問したことのない多くの学校等へ訪問することができた。</p> <p>また、この活動が今後さらに地域の母子の活躍の場となり、自分の子育て経験が【子育てスキル】として社会に貢献している!と自信を持って暮らせる街にしたい。</p>

(くすのき補助金)

<p>⑦この事業の創造的又は開拓的である部分</p> <p>先駆性</p> <p>⑧この事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p>専門性</p>	<p>⑦ボランティアではなく謝金を受け取ることによって、母親一人ひとりが更に強い責任感と高い意識を持って行動することができる。また、仕事として活動することで社会との繋がり、自分が必要とされているという実感が持てる。</p> <p>⑧さらに、赤ちゃん先生プロジェクトに参画する母親は、有料講座を受講し、赤ちゃん先生出前授業に臨む心構えや知識とノウハウを身につけるためプロ意識が高く、自信を持って活動している。それによってこれまで5年間事故などもなく安全に開催することができている。</p> <p>母親が語るのではなく、目の前の赤ちゃんから感じる授業を目指している。赤ちゃんが笑うとついこちらまで笑顔になる、泣いていると助けたくなる、そんな【共感力】を育む授業は他にない。</p>
--	--

備考 内容の記載は簡潔をお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。